

ユニセフ DVD 学習教材

英語の教科書等でも
おなじみ!?

IMAGINE(イマジン)
ユニセフVer.を収録



各種申込書・依頼書入り

- ユニセフ資料申込書
- ユニセフハウス訪問依頼書
- 街頭募金申請依頼書
- 講師派遣依頼書 等

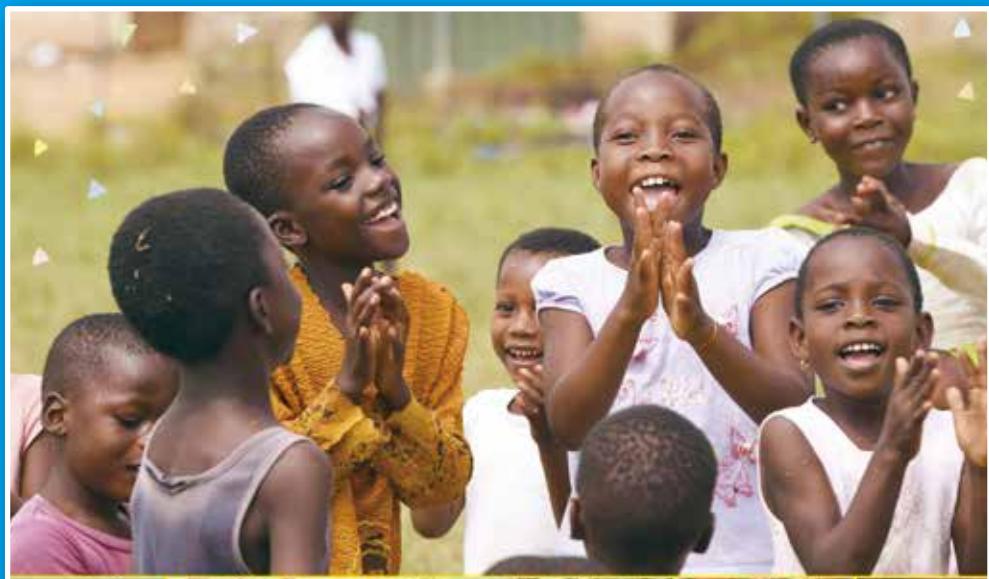
募金用振込用紙入り

2019 年度版

ユニセフ活動 の手引き

主体的・対話的で深い学びに!

総合 道徳 社会 英語 理科 家庭 音楽 にも!



すべての子どもに、

さ。

あなたは に何を入れますか?

ポスターを使って話し合ってみよう！
子どもたちには何が必要だろう？

すべての子どもに、
あなたは□に何を入れますか？

みんなとっても楽しそう。おどっているのかな。
すべての子どもに必要なものは
笑顔になれることだよ！
遊ぶことも大切！

水も大切だと思う！
水くみのために学校にいけない子がいるとテレビでみたよ。

栄養も大切だよ！
干ばつや紛争で栄養不良の子どもが苦しんでいるんだ。

すべての子どもにワクチンを届けられるよう、
募金をよびかけてみよう！

ポリオの予防接種を受ける男の子

※写真についているアイコンは「持続可能な開発目標(SDGs)」の関連する目標です。
「持続可能な開発目標(SDGs)」について、詳しくはP.7へ。

ユニセフ活動の手引き

目次

いま、学校での「ユニセフ活動」が果たす役割	1
「ユニセフについて知りたい」	3
「世界の子どもの現状が知りたい」	5
特集 これからの世界の目標(SDGs)とユニセフ	7
「募金活動をしたい」	
ユニセフ募金の種類	9
<input type="checkbox"/> 支援ギフト申込用紙	10
さまざまな活動方法	11
<input type="checkbox"/> 文化祭セット申込用紙	12
<input type="checkbox"/> 街頭募金実施計画書・申請依頼書	14
<input type="checkbox"/> 活動を終えてから(We Support UNICEF賞申込用紙)	16
「学校で使える資料や教材がほしい」	
調べ学習に(ホームページ「子どもと先生の広場」)	17
貸出教材(水がめ・地雷レプリカなど)	18
ユニセフ資料の紹介	19
<input type="checkbox"/> ユニセフ資料申込用紙	20
「修学旅行・社会見学でユニセフハウスを訪問したい」	21
<input type="checkbox"/> ユニセフハウス訪問依頼書	22
「講演会や授業に講師派遣を利用したい」	23
<input type="checkbox"/> 講師派遣・オンライン授業依頼書	24
「ユニセフ視聴覚ライブラリーを利用したい」	25
全国の貸出機関と協定地域組織	29
「募金を送金したい」	31
振込用紙	32
「最新の映像・DVDを活用したい」	卷末

いま、学校での「ユニセフ活動」が果たす役割

「持続可能な社会の創り手」を育てるために

新学習指導要領には、「一人一人が(中略)あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるようになります」と記されました。

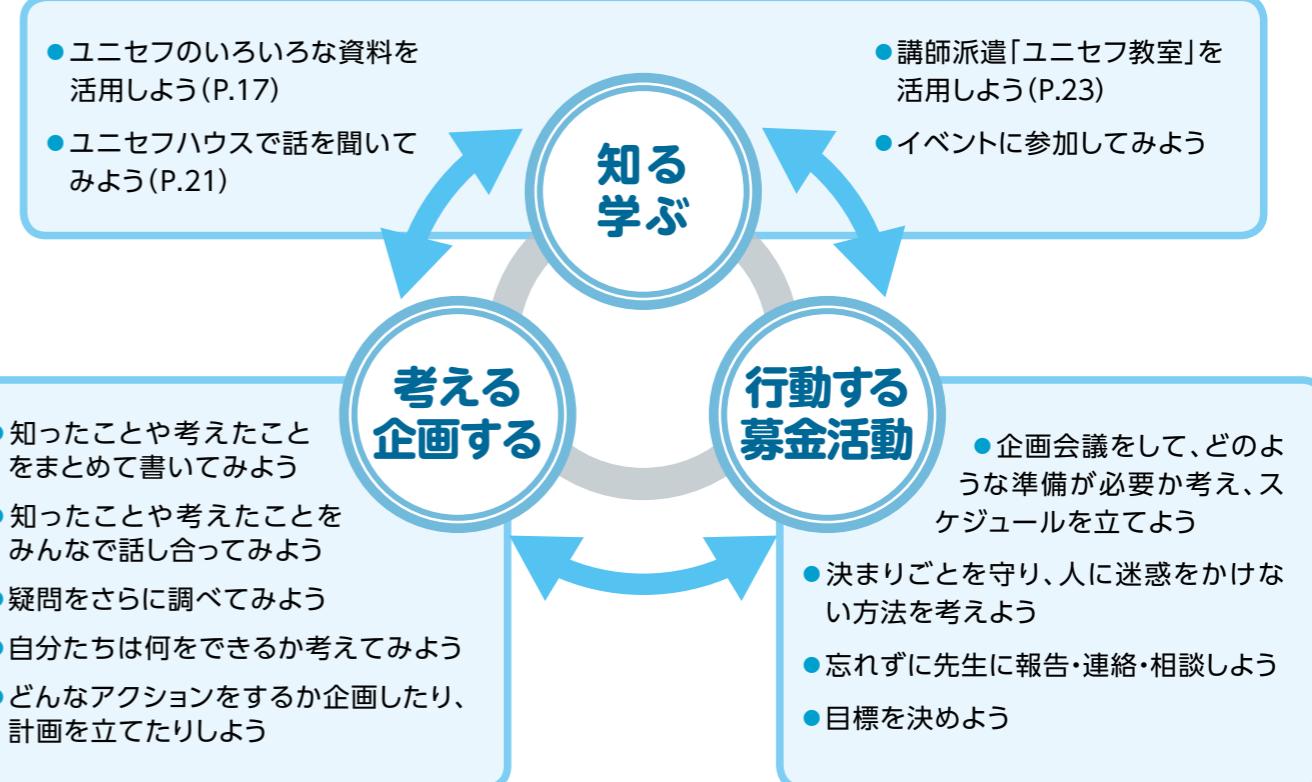
気候変動による自然災害の多発、格差や貧困、紛争やテロリズムなど、今の世界には、私たちの生活を「持続不可能」にしかねない様々な問題があります。技術革新が加速度を増し、人生100年時代とも言われる一方で、今の子どもたちが社会の主役となっているころに、世界がどのように変わっているのかを予測することは極めて困難です。持続可能な社会を創ることができなければ、私たち自身の暮らしも未来も危うくなる、そんな時代を生きていく子どもたちに、学校での「ユニセフ活動」は、**現在の世界の課題を学び、持続可能な社会を創るために必要な行動を起こす手がかり**を提供します。そこには、かならず主体的に対話的な深い学びが生まれると確信しています。

学校で取り組む「ユニセフ活動」には次のような側面があります

- ✓ 同じ年頃の世界の子どもたちの状況を知り、そこから自分たちが暮らす世界のようすを知ることができます。
- ✓ 世界の厳しい状況下の子どもたちと比べて、よりチャンスの多い日本での自分たちの暮らしと、どのような人々の努力や仕組みに支えられているのか、気づくことができます。
- ✓ 世界の子どもたちを支援するためにユニセフがどのように活動しているか、また、子どもたちの未来を守る持続可能な世界を築くための取り組み(P.7参照)を知ることは、社会や世界の困難な課題に立ち向かう方法を知ることにつながります。
- ✓ 自分たちにできることを考え、具体的な行動を企画し、実践することで、実際に変化を起こすために自ら動くことの大切さを学ぶことができます。
- ✓ 子どもたちによる行動が、学校内だけでなく、家族、周辺のコミュニティ、大人たちに影響を与えることを知ります。

はじめてみよう ユニセフ活動

世界の入り口はテレビや新聞、インターネットなど、身近なところにあります。そしてこのユニセフ資料も世界の入り口の一つです。ユニセフ学校募金活動を通して、世界の課題を「知る」、その原因や解決方法を「考える」、そして自分に出来ることを「行動する」、そんな総合的な学びを計画してみませんか。



考えたら、さらに知り、行動してまた考える…3つの要素は、互いに行き来しながら発展してゆきます。活動を続ける中で、世界はどのように見え、世界の仲間たちはどんな存在になっているでしょう。



ユニセフ活動を通して—子どもや先生方からの声



幼稚園
先生より
(東京都)

汚れた水を飲む子どもの写真がとても衝撃的だったようです。本園では、毎日存分に泥遊びをしていますので、その水を飲むしかない子がいる、というのが身近な経験を通して伝わったようです。知らない世界のことを知ることが、すなおにおもしろい、と話してくれる子どもたち。それが子どもの力なのだと改めて感じました。



小学校
計画委員の児童より
(千葉県)

ぼくたち計画委員は、このユニセフ募金を通して、日本がどれだけやされているのかがよく分かりました。今、このしゅん間もたくさんの命が失われていて、その中でもすぐえる命があることに気付きました。また、こまつた時は助け合うことが大切で、国をこえてその思いが届くといいなと思いました。決して他人事とは思わず、こまついたら助けるということが大切だと学びました。



中学校
生徒会担当の
先生より
(愛知県)

生徒会通信を通じて募金活動の呼びかけを行いました。文化祭当日、展示としてポスターを掲示し、生徒会役員を中心に募金活動を行いました。その活動を中心となって行ってくれた男子生徒が「最初は恥ずかしかったけど、協力してくれる人がたくさんいてうれしかった」と話していました。子どもたちが自分たちと同世代の世界の子どもたちに目を向け、現状を知り、何かできないかと考え、行動してくれたことをうれしく思います。



高等学校
ユニーク教室
を受けた生徒より
(福島県)

ユニセフの具体的な活動や世界の子どもたちの現状、これからやらなければならないことなど、今まで知らなかったことをたくさん知ることができ、とてもためになりました。これからも私たちが地球で生活していくためにやらなければならないこと、達成しなければいけない目標があることも分かりました。持続可能な開発目標(SDGs)をしっかり調べて確認し、自分たちが身近でできることを探して、少しでもこれからの地球に貢献したいと思いました。

ユニセフ早分かり

ユニセフとは…



ユニセフ(UNICEF:国際連合児童基金)は、世界の子どもたちの命と健やかな成長を守るために活動する国連機関です。第2次世界大戦で被災した子どもたちへの緊急支援を目的に、1946年の第1回国連総会で創設されました。現在、ユニセフは、「児童の権利に関する条約(子どもの権利条約)」で定められている、子どもの「生きる権利」「育つ権利」「守られる権利」「参加する権利」を実現するために、その国の政府やコミュニティ、NGOや住民などと協力してさまざまな支援活動を実施しています。

ユニセフの主な活動

ユニセフ活動分野別の支出割合(2017年)

子どもの保護

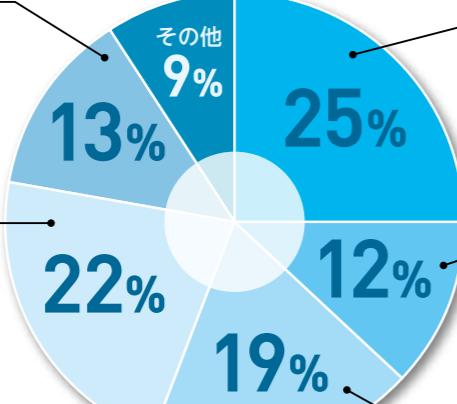
特に厳しい状況にある子どもたちを守る
暴力の被害にあった子どもの保護、子どもの兵士の解放や社会復帰、人身売買や児童労働を防ぐ取り組みなど

教育

すべての子どもが学校に行けるように



© UNICEF/UNI85063/Asselin



紛争や自然災害時の緊急支援活動もそれぞれの分野に含まれています。

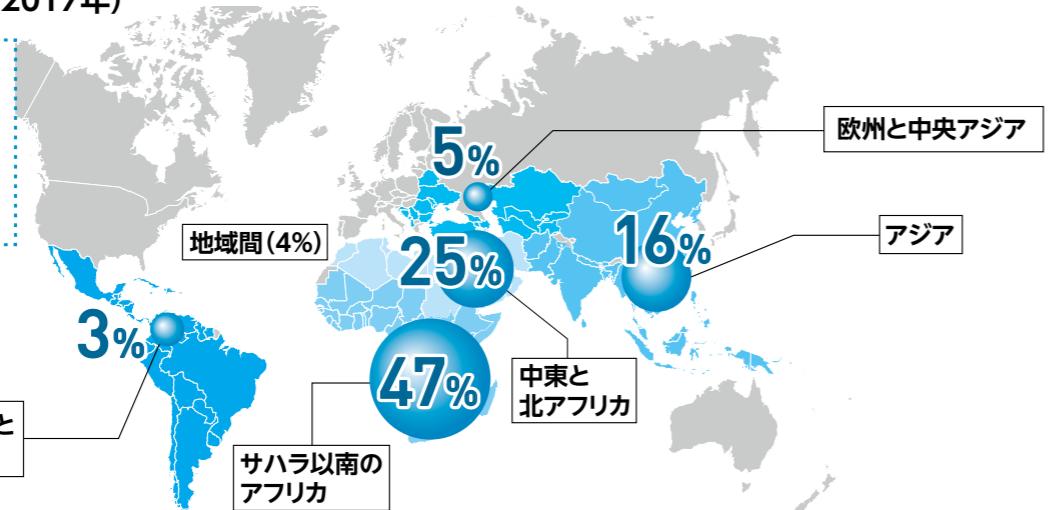
緊急支援

地震や洪水などの自然災害や紛争が発生したとき、ユニセフは、子どもたちを守るために、いち早く緊急支援活動に取り組みます。避難してきた人びとが暮らすキャンプは衛生状態が悪く、子どもたちが下痢や感染症にかかる危険性が高まります。家族を失ったり、体や心に傷を負ったりした子どもたちも大勢います。ユニセフは、テントや毛布、医薬品など、必要な支援物資を迅速に届けられる体制を整えています。また、「子どもにやさしい空間」を作ったり、できるだけ早く学校を再開する手助けをしたりして、子どもたちが日常を取り戻し、安全に過ごせるように支援しています。

地域別の事業支出割合(2017年)

ユニセフの活動基準

- 5歳未満の子どもの死亡率
 - その国の所得の水準
 - 子どもの人口
- この3つを支援の基準にしています。



ユニセフの歴史

1945年 第2次世界大戦が終り、国際連合(国連)が設立される(写真①)

1946年 第1回国連総会でUNICEF(国際連合児童緊急基金)を創設
戦争で被害を受けた子どもへの緊急支援をはじめる



1949年 日本の子どもへのユニセフの緊急支援がはじまる—学校給食での粉ミルクなど

1953年 名称を「国際連合児童基金」と改め、活動を開発途上国の子どもへの長期的な支援へ広げる

1955年 財団法人日本ユニセフ協会設立

1959年 国連総会で「児童の権利宣言」採択

1964年 日本へのユニセフの支援が終わる(15年間の援助総額 当時の金額で約65億円)

1965年 ユニセフ、ノーベル平和賞を受賞(写真②)

1979年 国連総会が国際児童年と定め、ユニセフが中心となってキャンペーンを展開

1983年 ユニセフ「子ども健康革命」提唱 子どもの生存と健康のための支援事業に重点をおく

1989年 国連総会で「児童の権利に関する条約(子どもの権利条約)」を採択(写真③)

1990年 「子どものための世界サミット」開催 世界159カ国から代表が参加
子どもへの予防接種の普及率が80%に到達

1996年 ユニセフ創設50周年「ユニセフの使命」を発表する

1999年 ユニセフ、子どものライフサイクル—乳幼児期・学齢期・青年期に合わせた総合的支援活動をはじめる

2000年 国連ミレニアム・サミットにおいて、MDGsの基となる「国連ミレニアム宣言」が出される

2002年 「国連子ども特別総会」開催。21世紀の新たな子どものための目標を採択

2011年 内閣府の認定を受け、公益財団法人 日本ユニセフ協会に移行

2015年 国連持続可能な開発サミットにおいて、「持続可能な開発のための2030アジェンダ」が採択される(写真④)

2016年 ユニセフ創設70周年

2019年 「子どもの権利条約」採択30周年



©UNICEF/UNI197042/Garten

日本の子どもたちもユニセフの支援で元気になりました。

今は豊かになった日本ですが、第2次世界大戦後、人々は家を焼かれ、着る物も食べ物もなく、不衛生な環境の中での生活を強いられていました。そのような厳しい状況におかれれた日本の子どもたちをユニセフは支援をしました。1949年(昭和24年)から15年間にわたって、当時の金額で約65億円相当の大きな支援で、学校給食に使われた粉ミルク、毛布、衣類の材料となる原綿、医薬品などが提供されました。

2011年の東日本大震災発生時には、ユニセフの協力のもと、日本ユニセフ協会が被災地で支援活動を行いました。



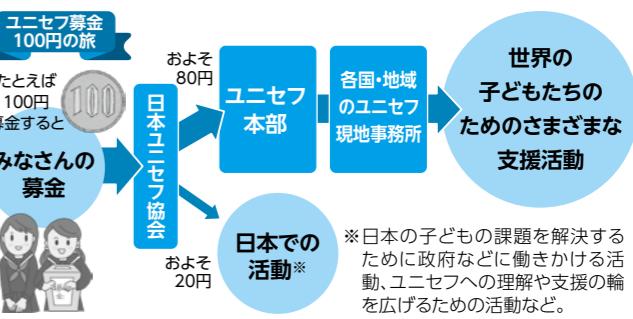
大きなユニセフ・ファミリー

ユニセフが支援活動をしている国や地域には、現地事務所や地域事務所があり、その国の政府と一緒に活動しています。一方、ユニセフの支援を卒業した日本などの先進工業国には、民間でユニセフを代表するユニセフ協会があり、ユニセフの活動を支える募金活動や広報活動などを担っています。こうして、現在、ユニセフは190の国と地域において活動をしているのです。



日本ユニセフ協会の活動

日本ユニセフ協会は、個人のみなさん、団体や企業、自治体、報道機関や学校のみなさんから、ユニセフへの募金をおあずかりしてユニセフ本部へ届けています。また、ユニセフの活動や、世界の子どもたちの状況などについて日本国内でお伝えしたり、子どもの課題を解決するために政府などに働きかけたりしています。



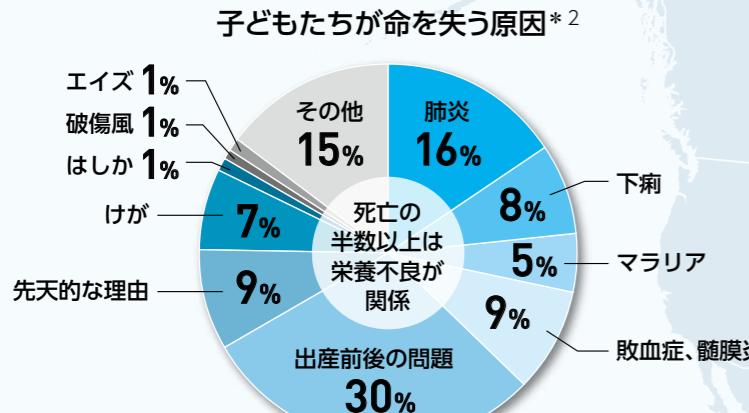
世界の子どもたちは、いま

生まれた国や地域によって、さまざまな危機や困難に直面している子どもたちがいます。

数字で見る世界の子どもたち



5歳をむかえる前に命を失う子どもは年間
540万人^{*1}



!
予防できる原因で多くの子どもたちが命を失なっていることがわかります。

✓ **1億5,100万人**の5歳未満の子どもが、栄養が足りず発育が阻害されている^{*3}



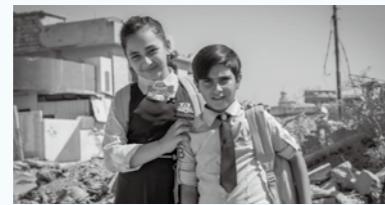
児童労働を強いられている5~17歳の子どもは、世界で
1億5,200万人^{*4}



マレーシア。15歳のナーフィティリはインドネシアからの移民。アブラヤシのプランテーションで働いている。
© UNICEF/UN0247954/Noorani



小学校就学年齢にもかかわらず小学校に通っていない子どもの数は、世界で
6,300万人^{*5}



イラク。ユニセフが再建した学校に通う二人。「学校が破壊された時は悲しかった」と11歳のアリ君(右)。「あんな光景は二度と見たくない。学校のない人生はないわ」と13歳のファラーさん(左)。
© UNICEF/UN0248973/Anmar

ベネズエラ危機

ラテンアメリカ・カリブ海地域の各国は、少なくとも240万人のベネズエラ難民・移民を受け入れている。この予測不可能な大量の移民の流入は、移民を受け入れているコミュニティの元々限られた公共サービスや制度を圧迫し、各国の対応力は限界にきている。

リビア

長期化する紛争、政治不安、公共サービスの崩壊、そして機能停止に陥っている経済が人々の生活に影響を及ぼしている。約24万の子どもが人道支援を必要としている。



紛争で破壊された街。自分の家に戻っても、不発弾があり依然として危険な状況に晒されている。
© UNICEF/UN0271176

危機下の子どもたち

ウクライナ

ウクライナ東部で紛争の影響を受けているおよそ50万の子どもたちは、きれいな飲料水、安全な学習環境、質の高い保健ケアや心理社会的支援を含む、緊急の保護や人道支援を必要としている。



着弾で窓ガラスが飛散する危険があるため、窓辺には土のうが積まれている。外は危険なため、子どもたちは校庭には出られない。
© UNICEF/UN0150818

アフガニスタン

増加する暴力や、干ばつ、厳冬といった自然災害によって、推定380万の子どもたちが保護や人道支援を必要とすると見込まれている。



干ばつにより、7人の子どもたちを養えなくなってしまったモハメドさん。
© UNICEF/UN0220450

シリアと周辺地域

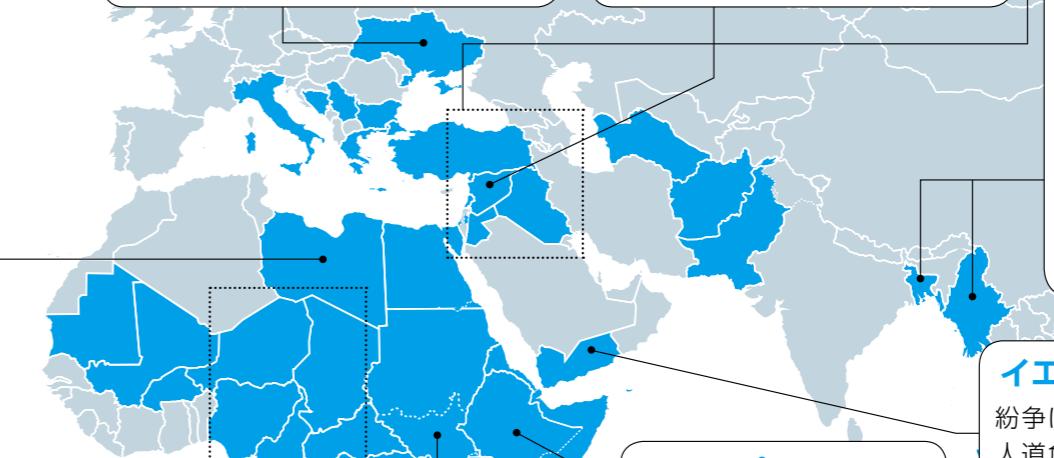
シリア紛争は開始から8年が経過。子どもも560万人を含む約1,300万人が人道支援を必要としている。

バングラデシュとミャンマーのロヒンギャ危機

2017年8月以来、40万の子どもを含む73万人以上のロヒンギャの人々が、ミャンマーでの暴力から逃れてバングラデシュのコックスバザールに身を寄せている。



急きよ森を切り拓いて設けたコックスバザール難民キャンプ。過密する人々の家が建つ台地は大雨が降れば地滑りを起こす危険性もある。
© UNICEF/UN0235247/LeMoyne



イエメン

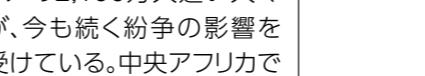
紛争によって引き起こされたイエメンの人道危機は、2,200万人が人道支援を必要とする世界最大の緊急事態と呼ばれている。200万の子どもたちを含む約1,200万人が食糧支援を必要とすると見られている。



重度の栄養不良に加え、発熱、下痢を併発し、命の危機に瀕していたサバちゃん。ユニセフの支援する栄養治療センターで治療を受け、回復に向かっている。
© UNICEF/UN0276450/Almhabsi

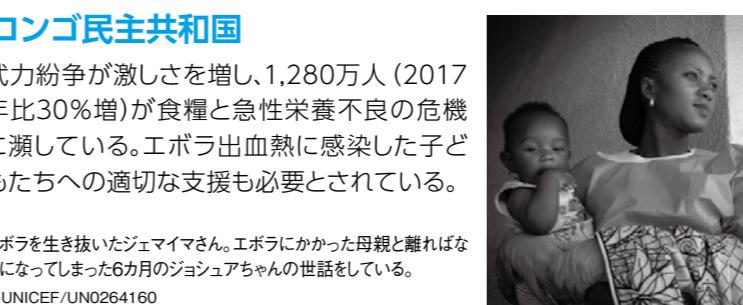
チャド湖周辺地域

カメルーン、中央アフリカ、チャド、ニジェール、ナイジェリアの2,100万人近くの人々が、今も続く紛争の影響を受けている。中央アフリカでは、150万の子ども(国内の子どもの3人に2人)が人道支援を必要とすると見込まれている。



コンゴ民主共和国

武力紛争が激しさを増し、1,280万人(2017年比30%増)が食糧と急性栄養不良の危機に瀕している。エボラ出血熱に感染した子どもたちへの適切な支援も必要とされている。



エボラを生き抜いたジエマイマさん。エボラにかかった母親と離ればなれになってしまった6ヶ月のジョшуアちゃんの世話をしている。
© UNICEF/UN0264160

南スーダン

和平合意がなされたにもかかわらず、南スーダンの人道状況は依然として厳しく、ジェンダーに基づく暴力・栄養危機、経済的混乱、病気の流行などが続いている。450万人以上の人々が家を追われ、600万人が水と衛生サービスを必要とし、220万の子どもが学校に通っていない。

*1 Levels and Trends in Child Mortality 2018

*2 Levels & Trends in Child Mortality 2017 *3 UNICEF-WHO-The World Bank Joint Child Malnutrition Estimates-2018 edition

*4 ILO, Global Estimates of Child Labour - RESULTS AND TRENDS, 2012-2016 *5 UNESCO, One in Five Children, Adolescents, and Youth is Out of School

*6『衛生施設と飲料水の前進: 2017年最新データと持続可能な開発目標(SDGs)基準』(ユニセフ・WHO, 2017)

出典: Humanitarian Action for Children 2019(Overview), UNICEF

注:この地図は国境を正確にあらわしたものではありません。また、国や領土・国境の法的的地位についてのユニセフの立場を示すものではありません。

特集 これからの世界の目標(SDGs)とユニセフ

世界はよりよい場所になっている!?

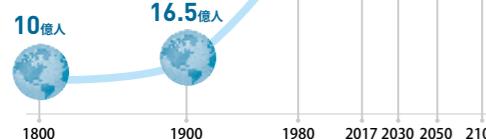
この30年で、子どもたちを取り巻く環境には大きな前進がありました。たとえば、5歳を迎える前に亡くなる子どもの数は1990年の1,270万人から、2017年には540万人にまで減少しました。しかし、子どもたちが生きる現在の世界は、紛争、格差、気候変動など、未来を大きく左右する多くの難しい問題に直面しているのもまた事実です。

● 今の世界にはどんな問題があるのだろう?



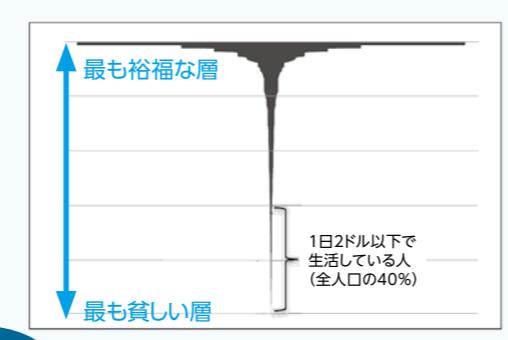
世界の人口(1800~2100)*1

わずか150年ほど前には10億人にも達していなかった世界の人口が、20世紀に入ると、急速に増え続けてきました。このままの傾向が続くと、2055年の時点には100億人を超えて、さらに増加していくと予測されています。



格差*2

右の図は、世界(141カ国)の最も裕福な人から貧しい人を上から順に並べ、どのくらいの富(黒い部分)をもっているのかを示した図です。最も裕福な6,100万人(全人口の1%)がもっている富は、最も貧しい35億人(全人口の56%)と同じです。富が裕福な人に集中していることが分かります。



社会の格差

世界を不安定にする要素

紛争や暴力

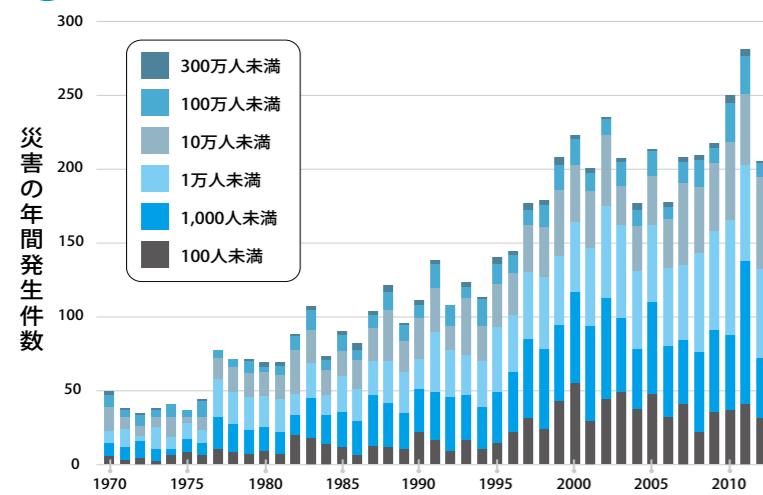
気候変動は世界全体の問題。

でも真っ先に影響を受けるのは…?*3

沿岸の低地に住む人々だけでなく、貧困など社会的に脆弱な立場にある人々も真っ先に悪影響を受けます。異常気象や災害(洪水、干ばつ、熱波等)に備えたり、対応したりすることが難しく、復興までの時間もかかるため、すでにある貧困を長引かせたり、新たな貧困を生み出したりしてしまうことにも繋がります。



住民の移動を余儀なくさせる災害の年間発生件数(1970~2013)*3



シリア紛争。その背景には干ばつの影響も。

2019年で8年目を迎えるシリア紛争。この紛争が起きる前の2006~2010年、シリアでは史上最悪と言われる干ばつが起り、社会が大きく変化していました★。様々な問題や変化が影響し合って、紛争などの大きな問題を引き起こすことがあります。

★当時シリアでは、水を大量に必要とする綿花栽培が推奨されていたこともあり、干ばつの影響はより深刻なものとなりました。農地を手放し、職を求めて都市部に多くの人が流入。失業率が上がり、社会不安が広がる中で、「アラブの春(中東各地で起きた大規模な民主化運動)」につながる反政府暴動が起きていきました。

*1 UN Population Division(2015) *2 "GLOBAL INEQUALITY: BEYOND THE BOTTOM BILLIONA - Rapid Review of Income Distribution in 141 Countries", UNICEF (2011)

*3 "Unless we act now: The impact of climate change on children", UNICEF (2015) *4 "Uprooted: The growing crisis for refugee and migrant children", UNICEF (2016)

● 目指す未来について話し合って生まれた「持続可能な開発目標(SDGs)」

地球と人類の存亡にもかかわるような様々な問題への危機感から、世界中のさまざまな立場の人が話し合い、課題を整理し、解決方法を考え、2030年までに達成すべき具体的な目標をたてました。それが2015年に国連で採択された「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals:SDGs)」です。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



● ユニセフ 子どもの「今」とその「チャンス」を守ることが持続可能な世界の礎になる

今日、この30年でもっと多くの国が紛争を抱えており、人道支援が必要な子どもは4,100万にものぼっています。健やかに成長できない、学ぶことができない等、守られるべき子どもの権利が奪われ、過酷な環境に置かれている子どもたちも多くいます。これから世界を築いていく子どもの「今」と権利が守られ、もって生まれた能力を十分に伸ばして成長できる「チャンス」が守られることが、平和に繁栄する社会、持続可能な社会を築いていくための礎になります。だからこそユニセフは、子どもたちを守り、その育つチャンス、学ぶチャンスを確保するために活動しています。

私たちみんなの未来を守るために何が必要でしょう?

ユニセフと一緒に考え、ぜひ、できることを行動にうつしてください。

資料のお
申し込みは
P.20

これは使える! ユニセフ資料の紹介

SDGs 副教材誕生!

私たちがつくる持続可能な世界 ~SDGsをナビにして~

今の世界の課題とSDGsを学ぶとともに、自分は何をするのか「行動宣言」を考えてみよう!



子どもの権利条約採択30周年!

子どもの権利条約カードブック

あなたの権利、あなたの周りの友達の権利、そして遠い国で暮らす子どもの権利を守るために、どんなことができるか考えてみよう!



様々な方法で、ユニセフ募金に協力！

世界の子どもたちを支えるユニセフ募金。かつて、日本の子どもたちも戦後15年間にわたってユニセフからの支援を受けていました。日本におけるユニセフ募金は、そんな子どもたちが「今度は自分たちができるることをしよう」と呼びかけたところから始まり、以来60年以上も受け継がれ、日本の子どもたちと世界の子どもたちをつなぎ続けています。ユニセフ募金は、世界の同じ世代の仲間たちのために、みなさんができる大切な活動のひとつです。募金活動を通じて、世界の子どもたちが直面する課題を知つてもらったり、活動に共感をもってもらったりできれば、さらに協力の輪が広がります。みなさんの取り組みは、世界を変える一歩になります！

校内・校外での募金活動

- 校内で活動する場合にも、保護者や地域のみなさんにもご理解いただき、協力してもらえるような働きかけを考えてみましょう。
- 校外に出て一般の皆さんに協力を呼びかける街頭募金活動は、大きな協力を集められるだけでなく、多くの学びにつながる方法です。(P.13参照)
- 募金箱や呼びかけポスター、ありがとうチラシなどの活動ツールを工夫して作るとモチベーションが高まります。
- 『〇〇(支援物資)が△個は買えるよう、□□円を目標に呼びかけよう』など、目標を決めて取り組むと、成果がわかりやすくなり、活動の振り返りや報告にも役立ちます。
- 運動会、学習発表会などの催事の際に活動することも効果的です。



私たちも取り組みました！

運動会の日に(募金活動を行ったので、子どもや保護者、また地域の方からも協力が得られました。児童会の子が直接回って「募金お願いします！」と声をかけると、「がんばってね。」「よろしくね。」などのはげましの言葉をもらい、子どもたちも嬉しそうでした。(草津町立草津小学校 児童会担当教諭)

バザー、フリーマーケットなど物販を通じて

中古品や未使用品、地域の特産品、自分たちで育てた農産物や工夫して作ったものなどを売るバザーやフリーマーケットを開いてみましょう。売り上げをユニセフに寄付することを伝えながら活動します。募金箱を置いてみたり、学習の成果を展示したりしながら実施することも効果的です。外部からの訪問者が多い文化祭・学園祭は、こうした活動の絶好の機会になります。(右ページの「文化祭ユニセフセット」をご活用ください)

私たちも取り組みました！

私たち山田中学生は、地域で採った山菜を販売し、その売り上げ金をユニセフに募金することにしました。暴力や貧困により毎日苦しんでいる人たちの力に少しでもなれたらいいなと思っています。この活動により、世界が一歩ずつ平和に近づいていくことを願っています。(富山市立山田中学校 生徒代表)



リサイクル活動と連携して

缶やびん、ペットボトル、古新聞、ダンボール、牛乳パック、インクカートリッジなど、リサイクル事業者が対価を払って引き取ってくれる場合がありますので、売り上げを募金することができます。書き損じはがきや未使用の切手は郵便局で1枚5円の手数料で新しいはがきや切手に交換することができます。新しいはがきや切手を周囲の方や取扱店で買い取ってもらえば、その代金を募金することができます。

送信先：(公財)日本ユニセフ協会 行

FAX : 03-5789-2034 TEL : 03-5789-2014 Email : se-jcu@unicef.or.jp

<申込日 年 月 日>

文化祭ユニセフセット 申込用紙

文化祭・学園祭をユニセフ協力の機会に！

思いを伝え、協力を広げる絶好のチャンス！

文化祭・学園祭では、みなさんが学習したり、考えたりしてきたことを多くの人に伝えられる良い機会です。楽しい模擬店の活動も、売り上げが寄付となり世界の子どもたちの笑顔につながるしたら、もっと多くの方と幅広い交流が生まれそうです。チャリティコンサートを開いたり、お芝居を披露したり、みなさんの様々な才能を生かして支援につなげることもできます。

今年の文化祭・学園祭をユニセフ色に彩って、世界の子どもたちとつながる機会にしてみませんか？

活動に取り組むみなさんを応援 !!

文化祭ユニセフセットをご活用ください

文化祭・学園祭の機会にユニセフ募金活動をしてくださる皆さんに、使いやすいポスターや募金箱をセットにして、無料(資料実費・送料ともに)でご提供いたします。

文化祭ユニセフセット基本内容

- 募金呼びかけポスター 3種類 各1枚
- 厚紙製組み立て式募金箱 2箱
- ポスターSET「ユニセフってなあに」 1セット
- 配布ちらし 100枚

ユニセフの活動や世界の子どもたちが直面する課題が10枚のポスターで描かれています(詳しくはP.28)



募金呼びかけポスター
3種類 各1枚

「すべての子どもに、希望を。」
「すべての子どもに、チャンスを。」
「すべての子どもに、□□を。」

学校 / 園名			
ご担当者名 (職)			
ご住所	〒 -		
電 話	()	FAX	()
Email			
開催日			
活動される方 主な活動予定内容			
ご要望等	※上記セット内容の資料の部数や、追加の資料をご希望の場合は、こちらに資料名と希望数量をお書きください。		

街頭募金活動のすすめ

校外に出て一般の方に募金の協力を呼びかける街頭募金活動には、多くの学びがあります。必要な手続きを取り、安全に配慮すれば、それほど難しい活動ではありません。ぜひ、ご検討ください。



自分たちは良いことをやっていると思って募金を呼びかけるのに、思ったように募金を入れてもらえないかったり、逆に地域の方があたたかい言葉をかけてくださったり。募金活動の主体となることで、活動を自分ごととしてとらえられる、自分の殻をやぶって人と関わることができる、社会のさまざまな人の考えを知る、といったさまざまな発見・経験がありました。
(街頭募金を経験された先生談)

街頭募金の進め方

1 「街頭募金実施計画書・申請依頼書」(右ページ)に記入し、FAXまたはメールでお送りください。

2 敷地利用申請など、活動の場所に応じて、必要な申請を行います。

・駅で実施する場合

鉄道(駅)の敷地を使用する場合には、駅に「駅敷地使用許可申請」が必要です。東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県・茨城県の鉄道においては、日本ユニセフ協会が書類のとりまとめ窓口となり、各鉄道会社に手続きをしています。手続きに時間がかかるため、表のとおり、実施日の2ヶ月前までに1の依頼書をお送りください。上記の都県以外の鉄道駅については、各学校から直接、駅にお問い合わせのうえ、ご申請をお願いいたします。

・公道の場合

駅前ロータリーなど公道を利用する場合には、警察に「道路使用許可申請」を行ってください。

・店舗の場合

店舗内あるいは店舗の敷地内を利用したい場合には、各店舗の許可を得てください。



募金活動月	
1月	前年の11月15日必着
2月	前年の12月15日必着
3月	1月15日必着
4月	2月15日必着
5月	3月15日必着
6月	4月15日必着
7月	5月15日必着
8月	6月15日必着
9月	7月15日必着
10月	8月15日必着
11月	9月15日必着
12月	10月15日必着

3 当協会から募金活動用のツールが届きます。

工夫して手作りした募金箱やポスターを加えると、皆さんのメッセージが伝わりやすくなります。

4 街頭募金活動当日

活動は、校長先生ならびに各団体の代表者の責任において、実施してください。街頭募金活動は、児童・生徒のみなさんだけでは行わず、校長先生の指導のもと、必ず先生または保護者の方と一緒にに行ってください。通行を妨げない、点字ブロックの上で行わない、などにも注意してください。また学校名を名乗るなど、学校の活動として実施していることを伝えましょう。実りある活動が安全に実施できるよう、皆様のご協力をよろしくお願ひいたします。

5 送金と報告

集まった募金は、巻末の振込用紙を使用し、郵便局からご送金ください。

後日、掲示板や学校新聞、ホームページなどを通じて、ご協力くださったみなさまへ募金額の報告やお礼を伝えてみましょう。

また、We Support UNICEF賞(P.16)の申し込みなどを通じて、募金活動のようすや活動を通じて感じたことなどを日本ユニセフ協会にもお知らせくださいと幸いです。

募金活動のヒント

いくらでどんなことができるかを具体的に伝えてみましょう。また、活動でどれくらいの支援を目標にするか決めて、みんなでその目標に向かって呼びかけてみましょう。

例

「あなたの100円で子どもたちをポリオから守るワクチンを6回分送ることができます!」

「13,000円の募金を集めて、世界の子どもたちに栄養治療食300包を届けたいと思います!」

※支援物資を選んで募金ができる「ユニセフ支援ギフト」(P.10)もチェック!

送信先：日本ユニセフ協会 学校事業部 行

FAX: 03-5789-2034 TEL: 03-5789-2014 Email: se-jcu@unicef.or.jp

<申請日 年 月 日>

街頭募金実施計画書・申請依頼書

街頭募金実施場所

駅敷地

※東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県、茨城県内の駅については日本ユニセフ協会でまとめて申請します。

実施駅	実施日時	参加人数
線 駅 □	年 月 日 曜日 時 分 ~ 時 分	生徒：名 同伴：名
線 駅 □	年 月 日 曜日 時 分 ~ 時 分	生徒：名 同伴：名
線 駅 □	年 月 日 曜日 時 分 ~ 時 分	生徒：名 同伴：名

その他の公道(駅周辺)・店舗(店舗名・所在地)・その他(公園等) 実施予定地

実施場所	実施日時	参加人数
	年 月 日 曜日 時 分 ~ 時 分	生徒：名 同伴：名
	年 月 日 曜日 時 分 ~ 時 分	生徒：名 同伴：名
	年 月 日 曜日 時 分 ~ 時 分	生徒：名 同伴：名
	年 月 日 曜日 時 分 ~ 時 分	生徒：名 同伴：名

公道で実施される予定で、警察署への「道路使用許可申請に伴う手数料の減免のお願い」が必要な場合はチェックを入れてください。

学校情報

学校 / 園名			
学校長 / 園長名			
ご担当者名 (職)			
ご住所	〒 -		
電話	()	FAX	()

資料請求

厚紙製募金箱 個 ※原則、一団体につき最大4箱まで。募金箱は手作りしていただいても構いません。

振込用紙 枚

ポスター 枚

配布用チラシ 枚

その他 ()

※この用紙は日本ユニセフ協会が使用するものであり、駅等に直接申請をされる場合にはご利用になれません。

活動を終えてから

活動終了後には、ぜひ活動を振り返る機会をつくりましょう。

また、お世話になった方、募金にご協力くださった方に対して、報告とお礼をしましょう。

募金の送金方法はP.31をご参照ください。

- 活動して良かったこと、反省点、また、感じたこと、考えたことなどを、みんなで話し合いましょう。



- 学校新聞など広報誌や学校のホームページに、集まった募金額の報告や募金活動を実施しての感想などを掲載しましょう。



- お世話になった方にお手紙を書きましょう。



- 活動の反省や教訓などをまとめて、後輩に引き継げるようにしましょう。



● We Support UNICEF賞をご活用ください

学校でユニセフ募金活動を実施したうえでお申し込みをいただいた学校にWe Support UNICEF賞をお贈りしています。お申し込みいただくと、賞状と記念のステッカー、ホームページ用のWe Support UNICEFバナーをお贈りいたします。一生懸命活動された児童や生徒のみなさんへのフィードバックにお役立ていただけましたら幸いです。



2019年度「We Support UNICEF賞」の贈呈について

- 募集期間： 2019年4月1日～2020年3月31日（申込用紙記載日）
- 賞の対象： 以下の条件に該当し、お申し込みをいただいた学校・園すべてにお贈りします。
 - ・児童や生徒が参加する形でユニセフ学校募金活動に取り組まれた学校。
 - ・すべての校種（幼稚園・保育園を含む）が対象となります。
 - ・PTAなど学校以外が活動主体となる形も可です。
 - ・学校全体、クラス、委員会、クラブなど、活動単位も問いません。
- お贈りするもの：賞状、We Support UNICEFステッカー、We Support UNICEFバナー（ホームページ用）
- お申し込み方法：右の申込用紙に必要事項を記入し、FAX、メールあるいは郵便にて以下へお送りください。
受付・確認後、およそ1ヶ月程度でお送りいたします。

日本ユニセフ協会 学校事業部 03-5789-2034 se-jcu@unicef.or.jp
 〒108-8607 東京都港区高輪4-6-12 ユニセフハウス

■ 活動報告をお寄せください

賞のお申し込みと同時に、活動のようすや児童・生徒のみなさんの声、先生方の感想などを差し支えない範囲でお寄せいただけましたら、大変ありがとうございます。活動事例は、事前確認のうえ、当協会の媒体で紹介させていただくことがあります。

送信先：日本ユニセフ協会 学校事業部 行

FAX : 03-5789-2034 TEL : 03-5789-2014 Email : se-jcu@unicef.or.jp

<申込日 年 月 日>

We Support UNICEF 賞 申込用紙

学校 / 園名			
学校長 / 園長名			
ご担当者名（職）			
ご住所	〒 -		
電話	()	FAX	()
Email			

実施された活動について、差し支えない範囲でお知らせください。

活動された方	人 数
活動日時 / 期間	
主な活動場所	
募金額	円 (送金日 年 月 日)

活動内容について

概要や児童・生徒の皆さんとの声・感想、先生の講評など、ぜひお聞かせください

（この欄は活動内容についての概要や児童・生徒の皆さんとの声・感想、先生の講評などを記入する欄です。）

写真や関連資料等ございましたら、こちらと合わせてメール等でお送りいただけますと幸いです。

お寄せいただいた活動事例を当協会媒体（ホームページ・資料等）にて紹介しても構いませんか？（ はい ・ いいえ ）

「知る」「学ぶ」ための方法とツール

日本ユニセフ協会では、先生方の日頃の授業にお役立ていただけるような、さまざまな資料、貸出教材、視聴覚教材を提供しております。ぜひご活用ください。

～ 目的にあわせてご活用ください ～

✓ 「学校で使える資料や教材がほしい」

- 学校向けのウェブページ「子どもと先生の広場」で学ぶ (このページ下) P.17
- 貸出教材を活用する (右ページ) P.18
- ユニセフ資料の紹介 P.19

✓ 「修学旅行・社会見学でユニセフハウスを訪問したい」

- ユニセフハウス展示見学、訪問依頼書 P.21～

✓ 「講演会や授業に講師派遣を利用したい」

- 講師派遣・オンライン授業 依頼書 P.23～

✓ 「ユニセフ視聴覚ライブラリーを利用したい」

- 利用方法 P.25～
- 全国の貸出機関と協定地域組織 P.29～

● 学校向けのウェブページ「子どもと先生の広場」で学ぶ



学校向けウェブページ 「子どもと先生の広場」 www.unicef.or.jp/kodomo/

- 「子どもと先生の広場」でできることの一例
- ユニセフについての基本的な情報や子どもに
関わる数値を調べる
- 「子どもの権利条約」について学ぶ
- 世界各国の子どもたちのストーリーを読む
- 「持続可能な開発目標(SDGs)」について学ぶ
- PDFでダウンロードできる資料がある
- 各種申込用紙(ユニセフハウスへの訪問依頼書や
講師派遣の依頼書等)がダウンロードできる

等

※一般向けのウェブページ (www.unicef.or.jp) でも、日々新しいニュースが更新されています。報道では目にしにくい世界の子どもに関するさまざまなニュースやユニセフ本部が発信する情報、各種の最新の報告書やデータなどをチェックすることができます。またFacebookやTwitterなどのSNSでも情報を発信していますので、ぜひフォローしてください。

※日本ユニセフ協会のYouTube公式チャンネルでは多くの映像を公開しています。こちらの映像もぜひご活用ください。

学校向けウェブページ「子どもと先生の広場」
(2019年3月現在のページ)

● 貸出教材を活用する

以下の教材の貸し出しを行っています。社会、国語、英語、保健、総合的な学習の時間などの教科の授業および文化祭などのイベント、募金活動の前の学習などにお役立てください。

貸出教材の申込先

日本ユニセフ協会 学校事業部

TEL 03-5789-2014 (平日9:00～17:00 年末年始を除く)
E-mail se-jcu@unicef.or.jp

貸出希望の教材名、利用希望日、学校名、担当者名、送付先住所、電話番号をお伝えください。

※貸出期間は、原則として到着から一週間です。返却日は厳守ください。



ネパールの水がめ…水を運ぶ大変さを体験

ネパールの山岳地帯では、安全な水源が住居の近くにないために遠くまで水くみに行かなければならない人たちもいます。この水がめに肩口まで水を入れると、約15Kgの重さになります。

世界には、井戸や川、池など、家から離れた水源から水を運ばなければならない暮らしをしている人がたくさんいます。何時間も水くみに費やし、そのために学校に通うことができない子どももいます。そんな現実を、実際の水の重さとともに知ってください。



水について学べる教材

動画 「13歳のアイシャの一日～水を得るために～」(3分37秒)

1日8時間かけて水を汲みに行くエチオピアの女の子の一日をおった動画です。



ユニセフ・ワークブック いのちの水 (B5変形判14ページ)

世界の水に関する問題や
ユニセフの活動について、
すごろくやクイズなど作
業を進めながら学ぶこと
ができます。



地雷レプリカ…戦争後も子どもの脅威に

戦争が終った後も被害を与え続けているのが地雷です。被害者の中には多くの子どもたちも含まれています。ユニセフでは、地雷を見つけたときの対処法を学ぶ地雷教育を広めています。対人地雷や不発弾の木製レプリカ、地雷教育用のポスター、指導用のパワーポイントが入ったキットです。



蚊帳…マラリアから子どもたちを守る

5歳未満の子どもの主な死亡原因のひとつがマラリアです。マラリアを媒介する蚊は夜行性のため、夜、蚊帳の中で眠れば予防することができます。この蚊帳の広まりとともに、マラリアによる子どもの死亡は減少しています。



※上記の貸出教材の他、栄養不良を判断する上腕計測メジャーや支援物資(栄養治療食、ビタミンA錠剤)などをご希望の方はお問い合わせください。

※お近くの協定地域組織からも教材を借りることができます。P.29の一覧で貸し出し可能な教材をご確認いただき、協定地域組織に直接お問い合わせください。また、ユニセフ視聴覚ライブラリーでは、DVD・ビデオ、パネルなどの貸し出しも行っています。あわせてご利用ください。(ユニセフ視聴覚ライブラリー P.25)

ユニセフハウス展示見学

東海道新幹線も停車する品川駅から徒歩7分ほどの場所にユニセフハウスがあります。ユニセフハウスには、開発途上国の保健センターや学校を再現したスペース、緊急支援用のテントなどがあり、実際に現地で使用されている支援物資を見たり、教科書や学用品を手に取ってみることができます。

ボランティアによるガイドツアーに参加されると、より深い学びにつなげることができます。修学旅行や社会科見学、夏休みの自由研究などの機会にぜひご訪問ください。入館料およびガイドツアーは無料です。

ユニセフハウス開館日時

月曜日～金曜日、第2・第4土曜日(祝祭日、年末年始を除く)

10:00～18:00

ガイドツアー予約について

ガイドツアー実施時間(1日4回、各回90分)

- ①10:00～11:30 ②11:30～13:00
 - ③13:00～14:30 ④14:30～16:00
- ※16:00以降のご訪問についてはご相談ください

ガイドツアーの内容

- ・ビデオ視聴(約15分)
- ・展示スペースの見学と説明(約60分)
- ・質疑応答、アンケートなど(約15分)

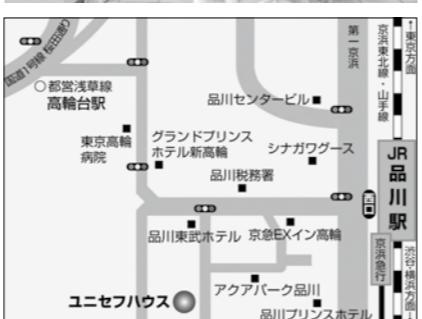
- ご注意**
- ・例年4～6月および10～11月は混み合います。夏休み期間中も混み合う時期がございます。早めのご予約をお願いいたします。
 - ・駐車場はバス2台(車高3.5mまで)程度のスペースがありますが、予約はできません。バスでお越しの際は事前にご連絡ください。
 - ・館内でお食事はできません。
 - ・訪問時に募金をお持ちくださる際は事前にご連絡ください。当日お渡しできるお礼状をご用意いたします。
 - ・最大受入可能人数は130名ですが、予約状況やイベント等によって受入可能人数が変わることがございます。



Event ユニセフハウスで開催されるセミナーや講座にもご参加ください

セミナーや講座、現地事務所のユニセフ職員による報告会などを実施しています。各イベントの詳細は、ホームページでご案内するほか、メールマガジンでも情報をお知らせしております。メールマガジンでの情報配信をご希望の方は、タイトルに「メルマガ希望」と記入の上、se-jcu@unicef.or.jpにメールを送信してください。

SDGs(持続可能な開発目標)に関する展示コーナーもできました!
(2018年12月)



送信先：(公財)日本ユニセフ協会 学校事業部 行

FAX : 03-5789-2034 TEL : 03-5789-2014 Email : se-jcu@unicef.or.jp

<申込日 年 月 日>

ユニセフハウス訪問依頼書

学校情報

フリガナ			
訪問団体・学校/園名			
責任者名・校長名	印		
ご担当者名(職)			
ご住所	〒 -		
電話	()	FAX	()
Email			

ユニセフハウス訪問希望

日 時	年 月 日 () 時 分 ~ 時 分			
ガイド時間枠 ① 10:00～11:30 ② 11:30～13:00 ③ 13:00～14:30 ④ 14:30～16:00 ※ 16:00 以降はご相談ください。				
訪問予定者	教員	名		
※最大 130 名まで。 受入可能人数は日時によって変わります。		児童・生徒・学生	※ () 年生	
その他				
目的	<input type="checkbox"/> 展示見学	<input type="checkbox"/> 下見見学	<input type="checkbox"/> 募金贈呈	<input type="checkbox"/> 学習資料収集
訪問後の活動予定など				
質問事項など	※後日送付される場合は、2週間前までに訪問日を明記の上 FAX でお送りください。 ※訪問前に事前学習をされている場合はその内容をお知らせください。			
ユニセフハウスまでの交通手段	<input type="checkbox"/> 鉄道 (JR 線・京浜急行・都営浅草線) <input type="checkbox"/> バス (大型台・中型台)			

アンケート

これまで、貴校(貴団体)で当協会の講師派遣や資料、視聴覚ライブラリーを活用したことはありますか?

これまで、貴校(貴団体)でユニセフの募金活動に取り組んだことはありますか?

※本「訪問依頼書」を受領後に、周辺地図の入った「訪問確認書」を FAX にてお送りいたします。

講師派遣・オンライン授業

総合的な学習の時間や生徒会・児童会の特別活動、道徳講演会、PTAの講演会、文化祭等のイベント時など、世界の子どもたちやユニセフについての外部講師による授業や講演会を希望される学校等を対象に、当協会スタッフおよび全国26の道府県にある協定地域組織（地域にあるユニセフ協会）のスタッフ・ボランティアによる講師派遣を実施しております。
また、「児童会・生徒会メンバーなど少人数を対象にした講習を行いたい」、「質問に答えてもらいたい」、「近くに講師派遣をしてくれる協会がない」などの場合は、オンライン授業をご活用ください。

講師派遣（ユニセフ教室・講演会）		オンライン授業
授業内容		世界のさまざまな子どもたちの現状やユニセフの支援について、映像や資料をまじえた授業を行っています。「紛争下の子ども」や「持続可能な開発目標（SDGs）」、「子どもの権利条約」など、特定のテーマの希望がある場合はその旨をお伝えください。ユニセフと関連のあるテーマであれば、可能な範囲で対応いたします。また、水がめを使った水遊びなど、体験学習も実施しております。
授業時間	基本 60分	短時間～可能
人数	学年単位以上	少人数～全校まで可能
費用	・講師の交通費（往復） ・資料・使用する資材（水がめや蚊帳など）の往復送料	無料 ※ただし、水がめや蚊帳などの資材、資料をご希望の場合は送料がかかります。
準備	パワーポイントを使用できるコンピューターやDVD再生機器、プロジェクター・スクリーン、マイク・スピーカー等	オンラインの無料通話ソフト（Skype、Google ハングアウトなど）ができるパソコン環境（カメラ・マイク含む）
申込方法	<ul style="list-style-type: none"> 「講師派遣・オンライン授業依頼書」（右ページ）を授業実施希望日の1ヶ月前までにお送りください。依頼書の受領後、担当スタッフから授業の内容や使用機材、資料、費用等についてご連絡、ご相談申し上げます。 全国26の道府県にある協定地域組織（地域にあるユニセフ協会）に直接お問い合わせ・お申し込みいただいて構いません。（→協定地域組織一覧 P.30） 	
その他	<ul style="list-style-type: none"> オンライン授業で使用する無料通話ソフトや、その他ご不明の点については、日本ユニセフ協会 学校事業部（TEL.03-5789-2014）までお問い合わせください。 近隣に協定地域組織がない県については、オンライン授業をお願いしております。 教員対象の研修会（国際理解教育、人権教育、ESD、総合的な学習の時間、道徳、各教科の研修など）への講師派遣も、ご相談ください。 	

送信先：（公財）日本ユニセフ協会 学校事業部 行
FAX : 03-5789-2034 TEL : 03-5789-2014 Email : se-jcu@unicef.or.jp

＜申込日 年 月 日＞

講師派遣（ユニセフ教室・講演会）・オンライン授業 依頼書

〈 講師派遣・オンライン授業 どちらかに○ 〉

フリガナ			
実施団体・学校／園名			
責任者名・校長名			
ご担当者名（職）			
ご住所	〒 -		
電話	()	FAX	()
Email			

■ 希望日時 ① 年 月 日（ ） 時 分～ 時 分
② 年 月 日（ ） 時 分～ 時 分
③ 年 月 日（ ） 時 分～ 時 分

■ 対象者（学年・人数）： _____

■ 会場： _____

■ 目的およびユニセフ教室後の活動（教育活動や教科の中での位置づけ）など：

■ 希望する内容：

■ 最寄駅から会場までの交通手段（オンライン授業ご希望の場合、Google ハングアウト、Skype など使用予定のアプリケーション、カメラの有無など）：

アンケート
1) これまで、貴校（貴団体）で当協会の講師派遣や資料、視聴覚ライブラリーを活用したことはありますか？
2) これまで、貴校（貴団体）でユニセフの募金活動に取り組んだことはありますか？

ご確認のうえ、チェックをお願いします。

- 交通費と授業で使用する資料の送料（往復）のご負担をお願いいたします。
 希望日時は原則的に第3希望までご記入ください。ご希望の日時でお受けできない場合は、別途ご相談申し上げます。

ユニセフ視聴覚ライブラリー

日本ユニセフ協会では、各地の協力機関を通じて、DVDやパネルなどの視聴覚教材を貸し出しています。どうぞお気軽にご利用ください。

ユニセフ視聴覚ライブラリー 利用方法



①借りたいDVDやパネルを選び、最寄りの貸出機関(P.29-30)に電話をかける。

②利用目的と期間(到着希望日と終了後の発送日)を伝える。

③利用者の氏名・住所(送付先)・電話番号を伝える。

※受付日や時間は、貸出機関ごとに異なりますので、P.29-30の表でご確認ください。

※往復の費用は利用者の負担となります。

※返却日は必ずお守りください。また、返却先(借りた貸出機関)をP.29-30の表で確認のうえ、お間違いないようにご返却ください。

※DVD等のダビングを希望される方には、事前に目的外の使用や編集をしない旨、誓約書のご提出をお願いしております。誓約書の用紙は各貸出機関からお取り寄せください。(ダビングできないものもありますので、ご注意ください。)

※借りたものの破損等には十分ご注意ください。万が一、破損した場合には、速やかに貸出機関にご連絡ください。原則として補修費用のご負担をお願いいたします。

DVD・ビデオ

※各タイトルで使用されている数値や内容はその制作年当時のものです。

※そのタイトルの内容を理解するのに適当な校種を示しています。幼：幼稚以上 小：小学生以上 中：中学生以上 高：高校生以上

※YouTubeでも映像を見る能够なタイトルにはYouTubeのマークがついています。

日本ユニセフ協会のYouTube公式チャンネルから、タイトルで検索してください。

はじめてユニセフを学習するときに



ユニセフと地球のともだち 14分

YouTube 小

保健、水、栄養、教育、保護、緊急支援の6つを柱としたユニセフの活動を、現地の子どもたちの声や映像で紹介します。また、ユニセフの歴史や、日本へのユニセフの支援についても触れています。ユニセフと世界の子どもたちの現状について基礎から学ぶことができます。項目ごとに分けて見ることも可能です。(2016年改訂・字幕版・英語版あり)



「シュン・シュン」(聞いてください) — 子どもたちからのメッセージ — 16分

YouTube 小 中学年

「シュン」とはベンガル語で「聞いてください」という意味。南アジアのスラム街で「シュン・シュン!」と予防接種を呼びかけ、ボリオ撲滅のために活動する子どもたちなど、さまざまな境遇の子どもたちが登場します。栄養不良、難民、教育などのテーマに加え、子どもの参画や公平性の概念などのテーマも扱っています。(2014年制作)

ユニセフの歴史や活動についてテーマごとに学習をするときに



ユニセフの歴史 6分

YouTube 小 高学年

ユニセフは、第二次世界大戦後、戦争で被害を受けた子どもへの支援のために創設されました。いまでは開発途上国で、保健、水と衛生、教育など、子どもたちの命と健やかな成長を守る活動を行っています。その活動と歴史をわかりやすく紹介します。(2011年制作)



子どもの命と健康を守るために 6分

YouTube 小 高学年

守ることができるはずの命が今も失われています。世界中のすべての子どもたちが、十分なケアを受け、健やかに成長できるように、ユニセフが各地で取り組んでいるさまざまな活動を紹介します。(2011年制作)



すべての子どもに教育を 6分

YouTube 小 高学年

学校に通いたいのに通えない。貧しさや学校がないなどさまざまな理由で学校に通えない子どもたち。すべての子どもが教育を受けられるように、ユニセフが実施している活動を、子どもたちの声や笑顔とともに紹介します。(2011年制作)



HIV/エイズとのたたかい 6分

YouTube 小 高学年

HIV/エイズによって厳しい状況におかれる多くの子どもたち。出生時に感染してしまった子ども、親をエイズで亡くした子ども。HIV/エイズから子どもたちを守ることも、ユニセフの活動のひとつです。HIV/エイズの予防、治療、教育、ケアに取り組むユニセフの活動を紹介します。(2011年制作)



子どもの保護と緊急支援 7分

YouTube 小 高学年

多くの子どもたちが暴力や搾取、差別、虐待などの危険にさらされています。過酷な労働をさせられる子ども。紛争に巻き込まれる子ども。出生登録がないために「公式に存在」せず誕生日も知らない子ども。こうした現実やユニセフの緊急支援活動を紹介します。(2011年制作)



この世界に生きる子どもたち 15分

小 高学年

女子教育、子どもの兵士、HIV/エイズなど、世界のさまざまな場所で厳しい現実に直面している子どもたちと、そうした子どもたちを守るユニセフの取り組みを紹介します。(2006年制作)



子どもたちこそ明日の世界 10分

小 高学年

1990年に開催された「子どものための世界サミット」。当時は1日4万人も失われていた子どもの命をどう守るか、その方策が話し合われ、また、それを実行することが約束されました。将来の世界の主役である子どもたちに、また、平和に向けて制作された作品です。(1990年制作)

幼い子どもから学べる



なぜユニセフ募金なの? 10分

幼

不自由な生活をしている私たち。でももし、電気、水道、病院、食べ物がなくなってしまったら?こうした基本的なニーズが満たされない厳しい生活があることを想像し、ユニセフへの協力を呼びかけるアニメーション作品です。(2010年画像修復版)



タムタムとビルの街 12分

幼

灰色の空の下で暮らすビルの街の友だちには青空を、乾いた砂漠に住む友だちには雨をプレゼント。世界の子どもたちが互いを学びあい、平等な立場で助け合うことをテーマにしたアニメーション作品です。(1984年制作)

個別の国の状況について知る



ベトナム・ディエンビエンの子どもたち 15分

YouTube 小

急速な経済発展のイメージと裏腹に、特に山間部で暮らす少数民族の人びとはその流れから取り残され、厳しい暮らしを送っています。豊かさとは何か、公平性とは何かを、少数民族の女の子の生活を通して考えます。(2013年制作)



いのちの水 西アフリカ・マリからの報告 15分

小 高学年

安全な水やトイレがないことが、多くの子どもたちの健康を脅かしています。世界の水や衛生の現状とともに、マリ共和国で村に井戸がつくられ、それによって変わっていく現地の人びとの生活を伝えています。開発途上国におけるユニセフの活動もよくわかる作品です。(2008年制作)



カンボジアの子どもと未来 — 教育と識字プロジェクト — 15分

小 高学年

1998年に戦争が終ったカンボジアでは、特に農村部で、保健や安全な水が行き届かず、栄養不良が広がり、子どもの健やかな成長が脅かされています。こうした暮らしを改善してゆくためにユニセフが実施している教育や識字教育プロジェクトを紹介します。(2008年制作)



すべての人にきれいな水を — ネパールからの報告 — 17分

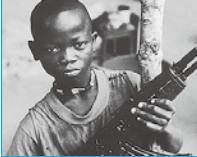
小 高学年

ヒマラヤ山脈で知られる南アジアの国、ネパール。安全な飲料水の確保に苦労している人が多く、時間も労力もかかる水汲みは主に女性と子どもたちの仕事です。カルカ村、ハンディコーラ村、パルサ村を例に各地での給水と衛生の取り組みを紹介します。(1993年制作)

戦争・搾取・虐待…特に厳しい状況下の子どもたちを知る

**子どもの権利を買わないで** —ポンとミーチャのものがたり— **15分** YouTube 小 高学年

山村で暮らしていた女の子ポンは、ある日村にやって来た男に連れられ、都会で働くことになります。そこでポンを待ち受けているのは…。子どもの権利のもっとも深刻な侵害のひとつ「子どもの商業的性的搾取」の問題をわかりやすく紹介するアニメーション作品です。(2001年制作)

**子どもと武力紛争** —世界から子ども兵士をなくそう— **12分** 中

現在も世界各地で武力紛争が続いている。子どもたちが兵士として使われ、身体と心に深い傷を負っています。こうした子どもたちの状況を伝え、子どもを紛争に巻き込まないためにできることを呼びかけています。(1999年制作)

**I DREAM OF PEACE(英語)** **6分** 中

戦争によって深い傷を負った子どもの心を癒すために、その体験や素直な感情を絵や詩に表現する心理療法があります。内戦の犠牲になった旧ユーゴスラビアの子どもたちが描いた絵を通して、子どもたちの抱える苦しみと夢を伝えます。(1994年制作)

**I am a child** **8分** 中

多くの子どもが児童労働に従事しています。中には、心身の発達に害を与える危険な労働を強いられている子どももたくさん存在します。ケニア、タイ、ブラジルで働く子どもたちのようすを伝えるこの作品は、児童労働の撲滅に向けて強いメッセージを発信しています。※ダビング不可(ILO制作、1996年)

**子どもの権利** **16分** 中

1990年の「子どもの権利条約」発効後も、子どもの権利が無視されている状況が続いています。児童労働や虐待で苦しむ子どもや戦時下の子どもの状況などを伝えると同時に、「子どもの権利」の実現に向けて力を尽くすよう訴える作品です。(1992年制作)

ユニセフが現地での啓発のために開発したアニメーション作品

**ミーナ にわとりなんわ** **13分** 幼

南アジア地域では、社会慣習により女性が不利な立場に置かれ、女子は教育の機会を奪われがちです。この地域で女子教育を広めるために制作された啓発ビデオです。お父さんの反対で学校に行けないミーナ。ペットのオウムを学校に行かせ、オウムから数え方を教えてもらいます。それをきっかけにして…(1996年制作)

**ミーナ はんぶんこしよう** **13分** 幼

女性や女子がより重い労働負担を強いられることが多い南アジア地域。この地域で女性の状況改善を啓発するために制作された啓発ビデオです。弟と同じように学校に通えるようになったミーナ。ところが食事の量は弟よりも少なく、家の仕事は弟よりもずっと大変です。ミーナと弟が家の仕事を交換してみたら…(1996年制作)

**サラ すてきなおくりもの** **17分** 小

東南アフリカ地域で、女子への支援プログラムの一環で制作された啓発ビデオです。中学校に通うことを楽しみにしていたサラ、お金がないことを理由にもう学校に通わせられないと言われます。ある日、借りた本を読んでサラは素敵なことを思い描きます。(1997年制作)

日本の子どもたちが登場する作品

**世界の12歳** **15分** 小 高学年

日本の14人の12歳の子どもたちが、バングラデシュ、ガーナ、クロアチア、オーストラリアの子どもたちを訪ねます。異文化に触れ、友情を深め、相手の国を理解してゆくドキュメンタリー。児童婚、労働、紛争、多民族問題といった世界の課題について自分たちができることを考えます。※ダビング不可(1998年制作)

**だれが守るの地球** —地球サミット／アジェンダ21— **13分** 小 高学年

1992年にリオデジャネイロで開かれた「国連環境会議」。子どもの代表スズキさんとサイードさんの発言を紹介します。また、ブラジル・アベイラの生活改善、滋賀県栗東市立大宝小学校の環境授業、ケニアの植林の事例を通じて、子どもの参加を呼びかけています。(1993年制作)

世界子供白書シリーズ

**世界子供白書2006** —存在しない子どもたち— **16分** 中

出生登録がないことで、その存在が公に認知されず、基礎的な保健や医療、教育などのサービスを受けることができない子どもたちがいます。なぜ子どもたちは社会から「見えない存在」になってしまうのか、その原因と課題、解決策を探っています。(2006年制作)

**世界子供白書2007** —女性と子ども— **16分** 高

教育や仕事の機会など、ジェンダーによる差別は世界で広く見られます。差別をなくし、女性の地位が向上することによってどのような変化がもたらされるでしょうか?「子どもの権利」実現の力ぎをにぎる女性のエンパワーメントに焦点を当てて紹介しています。(2007年制作)

**世界子供白書2008** —子どもの生存— **12分** 高

子どもの保健分野では大きな前進が見られる一方、いまだ多くの命が失われています。子どもの生存に関し、前進を加速させるためには、保健システムの強化が重要です。コミュニティを基盤とする保健ケアの取り組みを紹介しています。(2009年制作)

**世界子供白書2009** —妊娠婦と新生児の保健— **17分** YouTube 高

多くの女性が妊娠や出産に関連して命を失っていますが、その危険は、先進国と開発途上国の中では数百倍以上の格差が存在しています。妊娠婦の死亡につながる要因や母親と新生児を守るためにの取り組みを紹介しています。(2010年制作)

パネル

アルミフレーム枠カラー刷パネル (520 × 730mm) 10枚 1セット

子どもたちにやさしい地球を残そう

現在、子どもたちが置かれている厳しい状況を紹介するとともに、子どもたちにやさしい地球を残すために、ユニセフと一緒に考え、行動することを呼びかけています。(2013年制作)



上記の2タイトルは、ポスターセット(四つ折りで封筒に入ったもの)の提供が可能です。(P.19をご参照ください。)

ひとりひとりが大きな力

子どもの権利を脅かしている世界のさまざまな問題。よりよい未来のためにひとりひとりが力を発揮して問題に取り組もうと訴えます。(2002年制作)

守られているの?子どもの権利

「子どもの権利条約」でうたわれている権利と、基本的な権利を守られていない子どもの状況とユニセフの活動を紹介します。(2000年制作)

全国の貸出機関と協定地域組織

ユニセフ視聴覚ライブラリーは、以下の貸出機関および日本ユニセフ協定地域組織の一部でご利用いただけます。協定地域組織では、学習会、講演会、写真展、募金活動などを実施し、学校への講師派遣も受け付けております。協定地域組織がない県でも、地域によっては近隣の協定地域組織からの訪問が可能な場合がありますのでご相談ください。



ユニセフ視聴覚ライブラリー 貸出機関

機関名	貸出アイテム	電話番号	受付日時	住所
東日本を中心に全国へ貸し出し				
ユニセフライブラリー	DVD □	03-5471-7091	9:00~17:00 ④ 土・日・祝	〒343-0851 越谷市七左町4-301 共同物流 ユニセフライブラリー係
原則、所在県府内対象に貸し出し(発送サービスあり)				
(公財)岩手県国際交流協会	DVD	019-654-8900	9:00~20:00 ④ アイーナ休館日 12/29~1/3	〒020-0045 盛岡市盛岡駅西通1-7-1 いわて県民情報センター「アイーナ」5F 国際交流センター内
(公財)秋田県国際交流協会	DVD	018-893-5499	9:00~17:45 ④ 第1, 2, 4, 5 土・日・祝、 第3土曜日の翌月曜日	〒010-0001 秋田市中通2-3-8 アトリオン1F
(公財)栃木県国際交流協会	DVD	028-621-0777	9:00~17:00(火~土) ④ 月・日・祝	〒320-0033 宇都宮市本町9-14 とちぎ国際交流センター内
(公財)静岡県国際交流協会	DVD ※ DVDのみ	054-202-3411	8:30~17:15 ④ 土・日・祝	〒422-8067 静岡市駿河区南町14-1 水の森ビル2F
(公財)名古屋国際センター ライブラリー	DVD ※ DVDのみ	052-581-0102	9:00~19:00 (火~日) ④ 月/2月・8月の第2日曜日 12/29~1/3	〒450-0001 名古屋市中村区那古野1-47-1
(公財)豊田市国際交流協会	DVD	0565-33-5931	9:00~19:00(火~金) 9:00~17:00(土・日) ④ 月(豊田市とその周辺対象)	〒471-0034 豊田市小坂本町1-25 豊田産業文化センター3F
(公財)とやま国際センター	DVD	076-444-2500	9:00~17:45 ④ 土・日・祝	〒930-0856 富山市牛島新町5番5号 インテックビル4F
(公財)福井県国際交流協会	DVD	0776-28-8800	9:00~18:00(第2月・水・金・土・日) 9:00~20:00(火・木) ④ 第2以外の月・祝	〒910-0004 福井市宝永3-1-1
日本国際連合協会 京都本部事務局	DVD	075-211-3911	10:00~17:00 ④ 土・日・祝 学校・団体・企業のみ貸し出し可	〒604-0862 京都市中京区烏丸通り夷川上ル 第7長谷ビル8F
熊本県教育庁義務教育課	DVD	096-333-2688 (ダイヤルイン)	10:00~17:00 ④ 土・日・祝	〒862-8609 熊本県中央区水前寺6-18-1
(公財)鹿児島県国際交流協会	DVD □	099-221-6620	9:00~17:00 ④ 月(祝日の場合火)	〒892-0816 鹿児島市山下町14-50 かごしま県民交流センター1F

機関名	貸出アイテム	電話番号	受付日時	住所
沖縄県視聴覚ライブラリー	DVD	098-864-0474	8:30~17:15 ④ 土・日・祝	〒900-0029 那覇市旭町116-37 (南部合同庁舎4F) 沖縄県教育庁生涯学習推進センター
訪問して利用することができます(発送サービスなし)				
神奈川県立地球市民かながわ プラザ 情報フォーラム	DVD	045-896-2977	9:00~20:00(火~金) 9:00~17:00(土日祝) ④ 月(祝日の場合開館) 県内在住・在勤・在学の方対象	〒247-0007 横浜市栄区小菅谷1-2-1 2F
(公財)大阪国際交流センター	DVD	06-6773-8989	9:00~21:00 ④ 12/29~1/3・臨時休館日	〒543-0001 大阪市天王寺区上本町8-2-6

日本ユニセフ協会 協定地域組織

DVD・ビデオ □パネル □水がめ □地雷レプリカ □蚊帳

名称	貸出アイテム	電話番号 FAX番号	受付曜日・時間	住所
北海道ユニセフ協会	DVD □□□	011-671-5717 011-671-5758	月・火・木・金 10:00~16:00	〒063-8501 札幌市西区発寒11条5-10-1 コープさっぽろ本部2F
岩手県ユニセフ協会	DVD □□□	019-687-4460 019-687-4491	月~金 10:00~16:00	〒020-0690 岩手県滝沢市土沢220-3 いわて生協本部2F
宮城県ユニセフ協会	DVD □□□	022-218-5358 022-218-3663	月~金 10:00~17:00	〒981-3194 仙台市泉区八乙女4-2-2 みやぎ生協A棟3階
福島県ユニセフ協会	DVD □□□	024-522-5566 024-522-2295	月~金 10:00~16:00	〒960-8105 福島市仲間町4-8 ラコパふくしま4F
茨城県ユニセフ協会	DVD □□□	029-224-3020 029-224-1842	月~金 10:00~16:00	〒310-0022 水戸市梅香1-5-5 茨城県JA会館分館5F
埼玉県ユニセフ協会	DVD □□□	048-823-3932 048-823-3978	月~金 10:30~16:30	〒336-0018 さいたま市南区南本町2-10-10 コープみらい コーププラザ浦和1F
千葉県ユニセフ協会	DVD □	043-226-3171 043-226-3172	月~金 10:00~16:00	〒264-0029 千葉市若葉区桜木北2-26-30 コープみらい 千葉エリア桜木事務所 本館
神奈川県ユニセフ協会	DVD □□□	045-334-8950 045-334-8951	月~土 ※祝日除く 10:00~17:00	〒231-0063 横浜市中区花咲町2-57 ミシナビル201
岐阜県ユニセフ協会	DVD □□□	058-379-1781 058-379-1782	月・火・木・金 10:00~16:00	〒509-0197 各務原市鶴沼各務原町1-4-1 生活協同組合コープぎふ1F
石川県ユニセフ協会	DVD □□□	076-255-7997 076-255-7185	月・火・水・金 10:00~15:00	〒920-0362 金沢市古府2-189 コープいしかわ古府センター2F
三重県ユニセフ協会	DVD □□□	059-273-5722 059-273-5758	月・水・金 10:00~17:00	〒514-0009 津市羽所町379番地 コープみえ本部ビル1F
奈良県ユニセフ協会	DVD □□□	0742-25-3005 0742-25-3008	月~木 11:00~16:00	〒630-8252 奈良市内侍原町6番地の1 奈良県林業会館2F
大阪ユニセフ協会	DVD □□□	06-6645-5123 06-6645-5124	火~土 11:00~16:00	〒556-0017 大阪市浪速区湊町1-4-1 OCATビル2F
京都綾部ユニセフ協会	DVD □□□	0773-40-2322 0773-45-4090	月~木 10:00~15:00	〒623-0021 綾部市本町2-14 あやべハートセンター内
兵庫県ユニセフ協会	DVD □□□	078-435-1605 078-451-9830	月~金 10:00~16:00	〒658-0081 神戸市東灘区田中町5-3-18 コープこうべ生活文化センター4F
鳥取県ユニセフ協会	DVD □□□	0858-71-0970 0858-71-0970	月・火・金 10:00~16:00、 水 10:00~12:00	〒680-1202 鳥取市河原町布袋597-1 鳥取県生協内
岡山ユニセフ協会	DVD □□□	086-227-1889 086-227-1889	月・火・木・金 10:00~15:00	〒700-0823 岡山市北区丸の内1-14-12 小野アルミビル2F
広島県ユニセフ協会	DVD □□□	082-231-8855 082-231-8855	月~金 10:00~16:00	〒730-0802 広島市中区本川町2-6-11 第7ウエノヤビル5F
山口県ユニセフ協会	DVD □□□	083-902-2266 083-928-5416	月~金 10:00~16:00	〒753-0083 山口市後河原210番地
香川県ユニセフ協会	DVD □□□	087-813-0772 087-813-0772	月・火・木・金 10:00~16:00、 水 14:00~18:00	〒760-0023 高松市寿町1-4-3 高松中央通りビル3F
愛媛県ユニセフ協会	DVD □□□	089-931-5369 089-931-5369	月~金 10:00~16:00	〒790-0003 松山市三番町5-13-10 リパップビル201号
久留米ユニセフ協会	DVD □□□	0942-37-7121 0942-37-7139	月・水・金 9:00~16:00	〒830-0022 久留米市城南町15-5 久留米商工会館2F
佐賀県ユニセフ協会	DVD □□□	0952-28-2077 0952-28-2077	月・火・木・金 10:00~15:00	〒840-0054 佐賀市水ヶ江4-2-2
熊本県ユニセフ協会	DVD □□□	096-362-5757 096-362-5758	月・水・木・金 10:00~14:00	〒862-0949 熊本市中央区国府1丁目11-2 サンアイ水前寺ビル3F
宮崎県ユニセフ協会	DVD □□□	0985-31-3808 0985-31-3808	月・火・木・金 11:00~16:00	〒880-0014 宮崎市鶴島2-9-6 みやざきNPOハウス307号
鹿児島県ユニセフ協会	DVD □□□	099-226-3492 099-226-3492	月~金 10:00~15:00、 水 10:00~12:00	〒892-0842 鹿児島市東千石町14-2 メガネのヨネザワ5F

※年末年始等、別途お休みが入ることがあります。

募金の送金方法

ユニセフ募金へのあたたかいご協力、誠にありがとうございます。集まりました募金は本冊子に綴じ込みの振込用紙をご利用のうえ、郵便局からご送金ください。

ゆうちょ銀行・郵便局に備え付けの用紙をご利用の場合も以下をご明記ください。

なお、窓口扱いの場合のみ手数料免除扱いとなります。

①金額欄に募金額をご記入ください。

②ご依頼人欄に以下をご記入ください。

1.学校名(領収書の宛名になります)

2.ご住所

3.お電話番号

※領収書の送付先を指定する場合は、ご担当者のお名前を書いていただくと、その方宛に送付されます。

③通信欄で募金の種類を指定できます。

通常募金(ユニセフ募金)の場合は何も記載しなくて結構です。

募金の使途を指定したい場合は、受付中の募金名(ローハンギヤ、シリア、自然災害、アフリカ、人道危機など)を通信欄の余白にご記入ください。

払込取扱票									
99 東京	口座番号	金	千	百	十	万	千	百	十
円	0 0 1 9 0 - 5	3 1 0 0 0	1	2	3	4	5	6	7
各票の※印欄は、ご依頼人において記載してください。	料金	備考	免						
ご依頼人	公益財団法人 日本ユニセフ協会							窓口専用	切り取らないでお出しください。
・通信欄	おとこ・おなまよ ※(郵便番号) 2 108 - 8607								
	(フリガナ) ユニセフショウガッコウ								
	学校名 ユニセフ小学校								
	住所 東京都港区高輪4-6-12								
	電話番号 03 - 5789 - 2014								
	募金の使途を指定したい場合は、受付中の募金名をご記入ください。								
	ご指定のない場合は、ユニセフの通常事業全般に								
	役立させていただきます。(90139)								
	3								
	裏面の注意事項をお読みください。(ゆうちょ銀行)(承認番号東第52596号)								
	これより下部には何も記入しないでください。								
	日附印								

※受付中の緊急募金については、事前にホームページ上で必ずご確認くださいますよう、お願いいたします。

緊急支援情報 : www.unicef.or.jp/kinkyu/

※支援ギフトの場合は、P.10の申込用紙でお申込みいただいた学校に専用の振込用紙をお送りします。

領収書とお礼状、「ありがとうポスター」をお送りします

募金の受領確認後、2週間程度で領収書およびお礼状をお送りいたします。

また、A3サイズの「ありがとうポスター」も同封されますので、校内での掲示、全校集会等でのご報告にお役立ていただけますと幸いです。

※100円未満の募金の領収書発行はご容赦いただいております。

領収書が必要な場合は、お問い合わせください(学校事業部:03-5789-2014)。



※ポスターは昨年のものです。(今年のポスターはデザインが異なります。ご期待ください。)

●活動に参加された児童、生徒のみなさんへのフィードバックに
「We Support UNICEF賞」もご活用ください。詳しくは、P.15をご覧ください。

2019年度 ユニセフ学校募金春季資料

ユニセフDVD学習教材

- 1 あなたにとって平和とは?
～シリア 難民キャンプの子どもたちの声～
(1:04)
- 2 教育をあきらめたくない
～ロヒンギャ難民のラシェッド君～
(2:07)
- 3 子ども兵士から解放された
ジョセフ君
(1:54)
- 4 IMAGINE(イマジン)
(3:32)
- 5 思いがけないインタビュー
～SNSを安全に使うために～
(3:22)



- 6 100円の旅
(1:58)
- 7 世界に広めよう「持続可能な開発目標(SDGs)」Ⅱ
(5:16)
- 8 ユニセフと地球のともだち
(13:23)
長谷部誠日本ユニセフ協会大使の活動
- 9 日本の子どもたちへの
メッセージ
(1:04)
- 10 【ユニセフ公共CM】
難民キャンプ篇
(0:31)



公益財団法人 日本ユニセフ協会

Pressed in Taiwan

メニュー画面

2019年度ユニセフ学校募金春季資料 ユニセフDVD学習教材

1 あなたにとって平和とは? ～シリア 難民キャンプの 子どもたちの声～ (1:04) [字幕]	6 100円の旅 (1:58) [字幕]
2 教育をあきらめたくない ～ロヒンギャ難民のラシェッド君～ (2:07) [字幕]	7 世界に広めよう 「持続可能な開発目標(SDGs)」Ⅱ (5:16) [字幕・日本語ナレーション]
3 子ども兵士から解放されたジョセフ君 (1:54) [字幕]	8 ユニセフと地球のともだち (13:23) [字幕・日本語ナレーション] 長谷部誠 日本ユニセフ協会大使の活動
4 IMAGINE (イマジン) (3:32) [字幕]	9 日本の子どもたちへの メッセージ (1:04) [字幕]
5 思いがけないインタビュー ～SNSを安全に使うために～ (3:22) [字幕・日本語ナレーション]	10 【ユニセフ公共CM】 難民キャンプ篇 (0:31) [字幕]

unicef

公益財団法人 日本ユニセフ協会

動画紹介

2019年度 ユニセフ学校募金 春季資料 ユニセフ DVD学習教材

1

1分04秒

字幕



あなたにとって平和とは? ～シリア 難民キャンプの子どもたちの声～

「あなたにとって、平和とは?」ヨルダンのザータリ難民キャンプに暮らす、シリア難民の子どもたち7人が答えてくれました。「誰かがいいさつしてくれること(アイダ 7歳)」「安全だと感じること。みんながお互いを大切にすること。学校までの道が安全なこと(ウィアム 11歳)」

2

2分07秒

字幕



教育をあきらめたくない ～ロヒンギヤ難民のラシェッド君～

ロヒンギヤ難民の男の子ラシェッド君は、ミャンマーからバングラデシュに逃れてから学校に通えなくなってしまいました。「教育を受けたい。ちゃんと教育を。じゃないと僕の人生は台無しになっちゃう。やりたい仕事もできなくなっちゃうよ」

✓ 「平和」について改めて考えさせられる1本です。シリア難民の子どもたちが「平和」と聞いてイメージするものは、私たちが「当たり前」と気にも留めないような日常の場面であったりします。人それぞれにある「平和」のイメージを語り合い、その「平和」を実現できる世界を築くために、私たちに何ができるのか考えてみませんか。

3

1分54秒

字幕



子ども兵士から解放された ジョセフ君

武力紛争が続くコンゴ民主共和国カサイ地域では、多くの子どもたちが兵士にされています。民兵組織から解放され、ユニセフが支援するセンターで暮らすジョセフ君が自分の経験や気持ちを語ります。

※「6ヶ月間民兵として戦って、7人を殺した。」という告白から始まります。

✓ 社会科の授業などで、世界の紛争や子ども兵士の問題を扱う際にご活用いただけます。戦闘員、料理係、スパイ役、メセンジャーなどとして武力戦争に巻き込まれている子どもは、世界で数十万人いると推定されています。数ではない実際の子どもの声、そして子どもたちを支える人々の声は、問題の深刻さの理解につながります。

4

3分32秒

字幕



IMAGINE(イマジン) ユニセフ バージョン

「子どものために声をあげよう」ユニセフは世界に呼びかけました。その思いは共感を呼び、世界140カ国以上から歌声が集まりました。世界中の子どもが笑顔で子どもらしく過ごせる世界を、そして、あなたとユニセフが子どものために一緒にできることを、想像してみませんか。

✓ 英語の授業などで、英語の歌詞の意味や、そこに込められた思いを考えてみませんか。

5

3分22秒

字幕・日本語ナレーション



思いがけないインタビュー ～安全にSNSを使うために～

「ハリー・ポッターが好きなんだって?」「いい成績を残したんだって?」「体を鍛えてるんだって?」次々にされる質問に「誰かに私のこと聞いたの?」と戸惑う子どもたち。これらの質問は、子どもたち自身がSNSに投稿した情報をもとに作られました。「あなたの人生を全世界に公開しないで!」

※この動画は、インタビューを受けた子どもたちとその保護者の承諾を得て制作し公開しております。インタビューの際は子どもの保護の専門家の方々にも同席していただくなど、万全のサポート体制を整え、撮影を行いました。

✓ 夏休みに入る前の集会などで、この動画を活用するのはいかがでしょう。2月5日のSafer Internet DayにSNSで本ムービーを公開したところ「ハッとした」「子どもたちに見てほしい動画」などのコメントが多く寄せられました。

6

1分58秒

字幕



100円の旅

例えば、100円の募金。その100円の募金がどのように使われているのかを分かりやすく紹介するアニメーションです。募金活動の前や後に見ることで、その募金がどのように使われているか理解を深めることができます。

✓ 2017年のユニセフの活動報告にもなっています。文化祭などでユニセフの展示ブースを設置する際などに、会場で繰り返し再生しておくといった活用例もあります。

8

13分23秒

字幕・日本語ナレーション



ユニセフと地球のともだち

ユニセフと世界の子どもたちの現状について基礎から学ぶことのできる映像です。導入(0:00～)、歴史(0:42～)、保健・栄養(1:51～)、教育(4:53～)、水と衛生(6:02～)、子どもの保護(8:06～)、まとめ(11:54～)で構成されています。

✓ 社会科の授業で国連やユニセフについて学習する際や、ユニセフ活動に取り組む前の学習にご活用いただけます。

▶長谷部誠 日本ユニセフ協会大使の活動

9

日本の子どもたちへのメッセージ

(1分02秒) 字幕



「世界では、みんなと同じ年代の子どもたちで、すごく厳しい環境の中で生活している子どもたちもいます。そういうこともみんなに知ってほしいし、将来みんなも世界を広い目で見て、さまざまな活動をしていってほしいと思います。」

10

【ユニセフ公共CM】難民キャンプ篇

(31秒) 字幕



「教育というのは目に見えないものではあるんですけど、水や食料と同じように本当に必要で大切なものだなと感じます。」

7

5分16秒

字幕・日本語ナレーション



世界に広めよう「持続可能な開発目標(SDGs)」Ⅱ

国連の持続可能な開発目標(SDGs)を達成するには、クリエイティブなパワーが必要です。SDGsは途方もなく大きな目標に感じるけれど、身近なことから取り組めば大きな変化を起こせるはず。発明・工夫・キャンペーン、この3つの方法でSDGsに貢献する世界の若者の活動を紹介します。

✓ 総合的な学習の時間や社会科公民的分野の最後の学習に。子どもだから何にもできない?本当にそうでしょうか。「より良い社会を作るために自分は何ができるのか」を考えるヒントに。

➡ SDGs副教材とセットで使用がおすすめ!

⬇ 授業の導入にはユニセフ活動の手引き(2018年度版)のDVD収録の動画もおすすめです!

※2018年度・2019年度のユニセフDVD学習教材収録の動画は「子どもと先生の広場」(www.unicef.or.jp/kodomo/)からも見ることができます!



子どもと先生の広場

unicef

for every child



今年もWe Support UNICEF賞をお贈りします。
ぜひお申し込みください。詳細はP.16をご覧ください。

公益財団法人
日本ユニセフ協会

〒108-8607

東京都港区高輪 4-6-12 ユニセフハウス

📞 03-5789-2014 📞 03-5789-2034

✉ se-jcu@unicef.or.jp

www.unicef.or.jp

2019年4月1日 発行